

DIRECTFORCE の情報紙

DF NOW

2010年10月発行 NO.14

詳しくはDFホームページ http://www.directforce.orgをご覧ください



橋本秀雄氏(写真同好会)の作品「地球の彫刻」

第18回 ディレクトフォース会員総会

厳しい局面を乗り越えるために 会員は会の活動に積極的参加を

一般社団法人ディレクトフォースの第18回会員総会が、9月9日に学士会館で会員約200名の参加のもと開催された。松村代表理事によるDFおよびDFマネジメントの運営状況と課題の説明に続き、DFマネジメント4事業部長から事業状況についての報告、さらにDFの4つの部会活動について各世話役から現況報告がなされた。現下の厳しい環境の下、いかに事業活動を向上させるか、さらには会員が会の活動に積極的に参加するよういかに促進するかが課題として強調された。

現状報告

DF会員の状況

年会費をお支払いいただいている実働会員数の推移は、図1の通り。毎年90人近くの方が入会している。一方、退会・休会した方は平均30人ぐらいい度お入りいただいた以上は会の中で活動していただきたいという思いがあるので、一層の工夫が必要だと考えている。

会員の参加状況

事業や部会、勉強会、同好会などのDFの活動に会員がどのように参加しているかを示しているのが図2。別の観点からみて、新しい事務所に移転してから会議室などの程度利用されているか調べた。この6カ月間で225回、延べ700人の会員の方が利用している。この数字については、この次に事務所を移転するとき念頭に置いておかなければならないことと理解している。年間延べ1400人の会員の方が会議できる部屋を確保するということが、この会にとって大変重要なポイントとなる。

DFの経営状況

収入の合計はこの1年間で120百万円、前年と比べると約

図1 実働会員数の推移

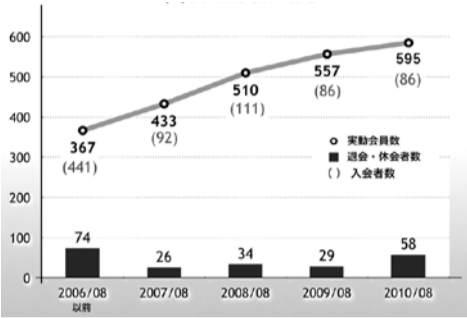


図2 会員の参加状況 (2009年9月~2010年8月)

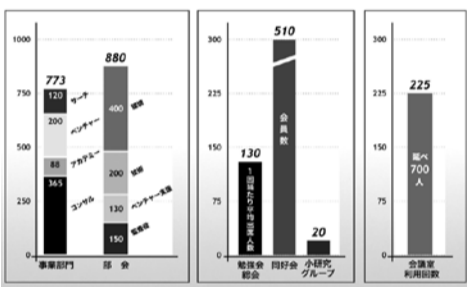


図3 収支内訳 (2010年 第8期 見込)

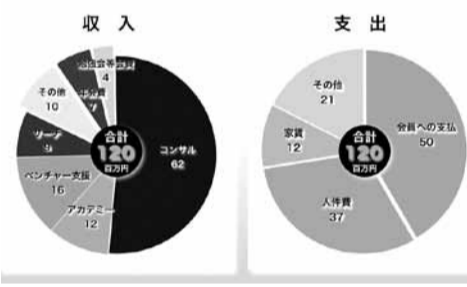
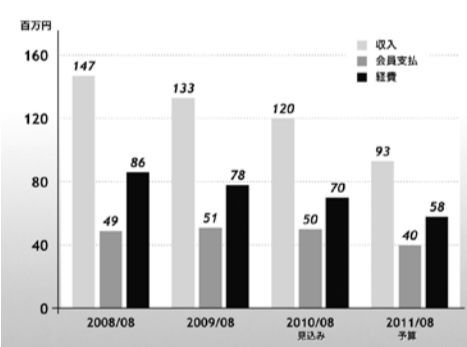


図4 収支の推移



会員の積極的参加を呼びかける松村代表

収支の推移は図4に示している通りで、2008年以降の収入は急激に減少の傾向にある。来期の予算は93百万円、4年前の2008年に比べると約3分の2になっており、前年と比べても約27百万円の減少となる。コンサルの減少がほとんどである。今期の予算を策定した。従来の経費のままだと14百万円程度の大きな赤字となる。人件費の圧縮で収支を改

10%の減収である。支出の合計は120百万円、これにより税前での収支はゼロである。その内訳は図3に示している。会員への事業収入の70%の割合で成功報酬を支払っており、これが約50百万円。約100百万円の減になっている。ただ収入に対する会員への成功報酬の割合は年々増えており、現在は約41%で、毎年2%ずつ増加してきている。

今後の課題

◆新会員の紹介・実情を正しく伝える

全体の会員数をどう考えるか。闇雲に数だけ増やせばいいものではない。しかし新陳代謝を図ることは必要であるから、これからは計画的に新会員を紹介いただく必要がある。その際に、よりよい説明をお願いしたい。

まず第1点は再就職を希望される方については現実は大変厳しいということ、講師についても学校側のニーズ、学生が興味を持つ分野と会社で経験されたことが必ずしもそのままマッチするとは限らないことを申し上げたい。2点目は、会員になったときのコ

ストの問題。年会費は120000円であるが、勉強会、同好会に参加されるとそれなりにコストがかかり、必ずしも安いかとは言いえない。活動に参加して活躍すれば必ずその見返りがあり、満足している方が多いが、その中に入るためには、ある程度のコストが掛かるということを知っていただきたい。3点目は、入会して2、3カ月の間に出来る限りどこかの会に入っていたいただきたいということ。最初に流れに入りこまないと後からはどうしても入りにくくなる。

この1年でやめた方の中で多くの方が再就職ないしは講義に出たいと希望していた。しかし、自分から積極的に会の活動への参加はしていない方が多い。黙っていてもそうした話が来るものと思っていたのかもしれない。会の現状を承知の上で入会いただくようにしたい。

◆会員への支援活動の火を消さない DFの中のボランティア活動、例えば技術部会では既に2000人の小学生を対象に理科実験を行っているが、すべて全員が手弁当でやっている。こうした分野での活動はやがてDFの評価につながってくる。このような活動の火を消してはならないので、必要な費用についてはなんとか予算化することを考えている。

◆事務局の運営・スリム化と強化 組織の簡素化をはかる。副代表制と業務部を廃止する。経費削減のために人件費の再カットと事務職員の人員削減をする。今年の末までは14人の体制から常勤、非常勤を含め11、12名位とする予定。

一番大事なことは営業の強化であることは言うまでもない。たとえばパソナグループや日本財団グループとの提

携拡大等われわれの活動と相互補完にあるような企業、団体との連携を深めることも必要。代表自ら先頭に立つて進めていきたい。

◆事業部報告

事業報告については、昨年度の実績を中心にまとめた。事業活動活性化のためには、会員の積極的な協力が不可欠。各事業活動への理解と協力をお願いしたい。

◆アカデミー事業部・石原部長

アカデミー事業部は大学での講義、企業研修等の講演、ロータリー・ライオンズクラブでの卓話などが3本柱。第8期は全部で353コマ、前年が287コマであったので66コマ、約23%の増加となった。景気低迷の影響で企業研修は若干減少しているが、大学、ロータリークラブが大幅に増加している。参加していただいた講師は99名、うち会員講師は88名(実働会員数)の参加。新しい講師も19名で昨年に比べて倍増している。

◆コンサル事業部・三宅部長

コンサル事業部の総収入はDF収入の半分、事業収入の6割という大きなものであるが、現況は非常に厳しいものとなっている。成功報酬がかなり減少している。8期は2430万円。これが9期の見通しでは経済情勢のため1120万円と約1300万円減少しそうである。成約可能なところに活動を集中することを考えている。

投資顧問会社などから得る月額顧問料は、特にリーマンショック以降、各契約会社から月額の減額申し入れを受けている。9期からこれが効いてくるため、3730万円から3050万円と700万円近く減少する見込みとなっている。

成功報酬、顧問料合わせて9期は前年比で2000万円近く減少するという厳しい見通しである。

◆サーチ事業部・坪井部長

求人企業は47社。ただ、驚くべきことに求人が1カ月以内に30%に相当する13社から人件費削減を理由に求人取り下げを申し出てきた。実質34社からの求人。会員の再就職が決まったのは11社12名で、内訳は社外取締役2名、社外監査役2名、専務理事1名、顧問7名である。

今回34社の求人に対して会員121

名の方をエントリーした。昨年の求人企業は57社だったので、今年は求人企業数減により紹介者数が約100名減ってしまった。

◆ベンチャー支援事業部・小西部長

現在支援しているベンチャー企業は21社。うち8社が技術系のベンチャー企業、残り13社が管理部門へのサービス提供型企業。21社のほとんどはDFの人脈を利用した顧客紹介を求めている企業で、うち12社から定額の顧問契約料を得ている。残り9社は成功報酬のみの契約となっている。定額の報酬をもらっている企業12社については会員の中から3人から5人の支援チームを作ってフォローしていることもあり、支援効果が出やすいが、成功報酬だけの企業についてはフォローが手薄になりやすい。

◆ベンチャー支援事業部

参加していただいた講師は99名、うち会員講師は88名(実働会員数)の参加。新しい講師も19名で昨年に比べて倍増している。

◆部会報告

部会報告は新年度の活動方針に焦点を当ててまとめた。

◆監査役部会・坪井世話役

第6クール研修会登録メンバーは153名。研修会は2010年10月から2011年5月まで、8回の研修会開催となる。講師陣は全部著名外部専門家をお願いし、今回は経営執行サイド及び監査役両方を対象とし、経営全般の問題、監査役業務に関わる研修講座としている。毎年継続している小研究グループを近々立ち上げる予定。

現在、外部企業参加を積極的にすすめているが、その理由は参加していたことによりDFのPRになることと社外取締役、監査役導入の一つの契機になればと考えるからである。会員の方からの外部企業の参加のご紹介をお願いしたい。

◆技術部会・三宅世話役

技術部会に登録されている会員数は60名。例会を隔月開催。部会員による卓話、色々な分科会の活動状況報告、活動の進め方の討議を行なっている。



出前理科実験授業は、昨年の横浜開港150周年記念のイベントとして行った理科実験をスタートとして、今年中で延べ2000人の小学生を対象に実施することになる。

工場見学は、4月にキューピー五霞工場を見学、10月には日立ハイテクノロジーズの見学を予定している。

技術史編纂は戦後日本の技術史分野ごとに簡略にまとめる。

日本産業の生き残り策討論会については、「日本の強み・弱みの認識、世界の潮流の認識」というテーマを設けて8月3日に実施したのに続いて9、10月にも予定している。

◆ベンチャー支援部会・小西世話役

ベンチャー支援部会のメンバーは現在130名。四方氏を会長とする6名の方で世話人会を構成し、月1回のペースで新規案件の採用可否の審査、既存案件の進捗状況のチェックを行っている。

部会のイベントとして、3カ月から4カ月に1回の頻度でベンチャー企業と会員の交流会を開催している。DFが支援しているベンチャー企業の業務内容を会員に周知してもらうための交流会で、本年は既に2回実施しており、次回は10月25日を予定している。

◆環境部会・児玉世話役

組織は、環境部会に5つの分科会を設けてセミナーを開催して環境問題を

◆同好会・児玉世話役代表

現在21の同好会がある。参加メンバーは全部で510名になっている。この他にも新しい同好会として尺八、ギター、合気道、座禅などの名前が挙がっているが、こうした同好会を立ち上げたい方はぜひ手を上げていただきたい。3人集まれば事務局が会員へのPRを手伝う。

DFにお入りいただく動機はいろいろあるが、異文化交流を進めるのに同好会に入っていたらいいのが一番やりやすい方法と思うので、会員皆様の力で既存の同好会活動を更に発展させるとともに、新しい同好会もどんどん立ち上げて、この活動を活発にしていきたいと考えている。

### 勉強会レポート

#### 3月勉強会

「雨が降れば傘をさす」



中博氏  
コンサルタント  
若手経営者を育成する「中塾」主宰

#### 4月勉強会

「最近の経済金融情—アジアの中の日本」



田谷禎三氏  
経済学者、元大和総研常務理事  
日本銀行政策委員会審議委員

#### 5月勉強会

「今様の学生へのメッセージ」



山中信義氏  
ベインキャピタル・ジャパン副会長  
経済同友会幹事/教育問題担当

#### 6月勉強会

「自ら育つ力」



渡辺康幸氏  
早稲田大学競走部監督

#### 7月勉強会

「一票の格差と違憲立法審査権」



泉徳治氏  
元最高裁判所判事  
TMI総合法律事務所所属弁護士

#### 8月勉強会

「サクセスフルエイジングへの挑戦」



吉川敏一氏  
京都府立医科大学大学院 医学研究科  
消化器内科学 教授

●詳しい内容はホームページをご覧ください●

研究、アカデミーとも連携しながら学生向けに環境問題の教育支援、上越や富士山での自然環境保全のための活動、環境経営に力を入れている企業を研究し未だ環境問題に積極的でない企業にPR活動を行うっていくことなどを考えている。分科会にはそれぞれリーダー、サブリーダーがあり、分科会全体では54人の会員が参加してこうした活動を企画推進している。

◆同好会・児玉世話役代表

現在21の同好会がある。参加メンバーは全部で510名になっている。この他にも新しい同好会として尺八、ギター、合気道、座禅などの名前が挙がっているが、こうした同好会を立ち上げたい方はぜひ手を上げていただきたい。3人集まれば事務局が会員へのPRを手伝う。

■おわりに

児玉事務局長

各事業部の話

はDFマネジメントに関する事で、株式会社として当然利益を追求していくことになる。活動は会員にお願いしており、活動された会員には収入の70%をお支払いし、30%はDF事務局の収入にさせていただきます。従来は支払いにシリングを設けたが、これを撤廃したので、良い案件で活躍したと、それに応じたリターンがあるののでぜひご尽力をお願いしたい。

DFについては、会員皆様がDFの各種活動を通して「DFに加入して良かった」と感じていただければ、代表理事以下更に努力したいと考えている。何より大事なことは、どれかのグループに早く入って活動いただきたいということである。私たち事務局としては、会員が抱いておられる、世の中に再貢献したいとか、自己向上をめざしたい、あるいは異文化交流の実を挙げたいといった動機に込める場をこれからもどんどん提供、充実させていきたいと思っている。明るく、透明性が高くそしてシンプルな事務局にして、皆さんと一緒にDFの活動を高めていきたいと願っている。

そのための協力をお願いしたい。

ゴルフ同好会

第18回コンペ (6月10日)



並河清氏が優勝 (グロス86ネット72)

登山同好会

7月度例会・甲武信ヶ岳 (7月17日)



山頂にて

釣り同好会

久里浜沖の大アジ釣り (7月21日)



脂ノリノリの大アジを手到大満足

蕎麦打ち同好会

千代田区高齢者センター  
蕎麦打ちボランティア (8月4日)



お年寄りの喜ぶ顔を励みに

歌舞伎同好会

第3回鑑賞会・国立劇場 (6月6日)



国立劇場のエントランスにて

美術同好会

彩遊会第6回スケッチ旅行 (5月18日)



サロンバス内で乾杯

スキー同好会

モンブラン・スキーツアー (2月27日~3月7日)



初の海外スキーツアーを楽しんだメンバー

### 同好会ニュース

スキューバー同好会

西表島ツアー (7月4日~8日)



杉山さんの100ダイブを祝う



水中での雄姿

トライアスロン同好会

石垣島トライアスロン挑戦 (4月25日)



チームタイガーのメンバー

囲碁同好会

第1回DF開碁大会 (6月13日)



飯田孝司5段と伊藤俊一2段が優勝

麻雀同好会

10年度第1回麻雀大会 (6月25日)



優勝した小林恒夫氏

- 分 部 貞夫 日商岩井
- 松 本 文朗 丸紅
- 沖 田 隆司 東レ
- 水 戸 英則 日本銀行
- 小 鳥 博 三菱商事
- 大 西 広 ニューヨーク大学美 術史研究所
- 長 谷 川 博光 松下電器産業
- 金 藤 捷三郎 戸田建設
- 浜 川 雅春 東京銀行
- 喜 藤 憲一 ダイエー
- 宇 野 輝 住友銀行
- 広 瀬 義隆 日立製作所
- 藍 原 昌義 大倉商事
- 高 橋 信敏 日本興業銀行
- 森 本 昌義 ソニー
- 森 井 一郎 日本航空
- 竹 内 克 三菱化成

### 新入会員紹介

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

- 稲 垣 吉雄 日産ディーゼル
- 花 沢 克廣 三菱銀行
- 若 林 肇 日立製作所
- 森 下 幸太郎 伊藤忠
- 植 村 昭憲 日立化成
- 金 子 由基夫 昭和電工
- 石 垣 晃嗣 伊藤忠
- 中 山 雅弘 三菱銀行
- 山 之 内 憲夫 日本航空機製造
- 杉 野 恭 第一勧業銀行
- 根 本 寛 朝日物産
- 大 熊 邦雄 三菱商事
- 山 崎 雅史 日産自動車
- 望 月 直躬 日経
- 石 坂 信彦 住友商事
- 吉 田 日出昭 三菱化学
- 橋 爪 文平 郵船航空サービス
- 澤 田 靖士 新日鉄

- 辻 本 博圭 近畿日本ツーリスト
- 西 村 康裕 三和銀行
- 宮 崎 泰雄 太陽銀行 (現三井住友銀行)
- 福 田 良彦 住友商事
- 木 原 利昌 日立製作所
- 殿 村 信三 三菱化成
- 古 橋 和好 太陽銀行 (現三井住友銀行)
- 櫻 井 三紀夫 日立製作所
- 清 水 龍雄 プラザクリエイト
- 高 木 健美 花王
- 松 田 康夫 三菱化成
- 寛 正澄 三井信託銀行
- 杉 浦 廣道 日本エヌ・シー・アール
- 松 岡 武徳 富士銀行
- 勝 村 龍一 日曹化工
- 松 田 恵明 米国ウッズホール海洋研究所